

指定管理者制度導入施設の第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策（令和6年度）

1 概要

施設名	吹田市花とみどりの情報センター	所管部室課名	土木部公園みどり室
実施日時	令和6年11月26日（火曜日） 13：00～15：00	実施場所	吹田市総合防災センター 7階土木部会議室

2 助言等の内容及び対応策

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
1	花とみどりの情報センターの広報活動のため、「はなみどPAPER」や「公園で花とみどりとあそぼう」など、魅力的なリーフレット等の作成が行われている。今後、その活用の幅を広げ、新たな層の獲得に期待する。	これまでの広報に加え、幼児教育を学ぶ学生（学校）や、つつつ市、商業施設などでも配布し、新たな層の獲得を目指します。	3 利用者満足度 (2)利用者サービス エ 施設の利用案内や事業の開催案内をパンフレットやホームページ等により、適切に行っている。
2	花と緑のフェアについて、イベント参加者数として年間3000人以上の活動目標を掲げているが、利用者満足度の観点から、適正な数値目標であるかどうか、イベントの規模、内容等を考慮し、改めて検証することが望ましい。	目標参加人数を増やしすぎると、店舗側が来場者の対応のみで、出展者同士の交流につながらないということや、イベント来場者がゆっくり出店ブースを見れないといったことがあることが考えられます。今後はアンケート等、イベントの開催状況を注視し、適正なイベント規模を検討してまいります。	2 管理運営内容 (3)事業運営 ア 事業計画書に基づき市民等による都市公園等の活用の促進に取り組んでいる。
3	花と緑のフェア等のイベントにおいて、出店者間の連携、コミュニケーションを促すことや、多様な分野の出店者が参加できるような仕組みをつくることが望ましい。	「出店者間のコミュニケーション」が図られるような出店者間のコミュニケーションツールとして、自己紹介カードを配布するなどして、マッチングできるような仕組みを検討します。 また多様な分野の出店者が参加できる仕組みとして、チャレンジショップ枠を設けることも検討します。	2 管理運営内容 (3)事業運営 ア 事業計画書に基づき市民等による都市公園等の活用の促進に取り組んでいる。
4	公園のイベント利用等を積極的に行うプレイヤーの支援を行うことで、花とみどりの情報センターのスタッフの負担軽減、人員の確保につながることを期待する。	これまで通り、プレイヤー支援も積極的に行い、市民講習会の支援の一環として、当センターへ出張講習の依頼があった場合、登録団体を紹介するなどして、相互に連携していくようにしていきたいと考えます。	2 管理運営内容 (3)事業運営 ア 事業計画書に基づき、花とみどりに関する活動の支援に取り組んでいる。
5	指定管理委託料について、物価高騰等の影響を鑑み、人件費、材料費を見直すことや、講師料についても、受益者負担の考え方を見直すことにより、活動内容の幅が広がっていくことを期待する。	講師料を含む参加費の設定については、吹田市公園みどり室と協議し、すすめていきますが、指定管理者としての具体的な案については、受益者負担割合を勘案しイベントを実施していくことを検討しています。	2 管理運営内容 (4)経費削減 ア 管理経費削減に向けての努力がされている。

6	キッズスペースを設置するなど子育て世代をターゲットにした取り組みについて、子育て関連部局との連携などによるさらなる利用促進に期待する。	今年度は保育幼稚園室管理の保育園や幼稚園にもパンフレットを配布し広報いたしました。今後は市報での告知や吹田市児童部等へ相談し、冊子を設置してもらうなど、これまでに利用がなかった層へ、当センターの魅力を発信し、利用促進を行います。	2 管理運営内容 (3)事業運営 オ 施設の効用を高める自主事業を適切に実施している。
7	今後の取り組みとして、生物多様性の観点も取り入れ、利用者の幅を広げよう期待する。	自然観察指導員の資格を持つ講師によるイベント開催を通して、生物多様性についても伝えていけるよう、講座の内容を検討して実施していきます。	2 管理運営内容 (3)事業運営 オ 施設の効用を高める自主事業を適切に実施している。